

日ノ浜の砂鉄



名 称 / 史跡古武井熔鋳炉跡
所在地 / 函館市（旧恵山町）
発注者 / 箱館奉行
建設年 / 1858年

土木遺産の概要

「古武井熔鋳炉」は、箱館奉行が、付近海岸に豊富に産する砂鉄を用いて大砲を鑄造する為、幕府の許可を得て、箱館奉行支配下の蘭学者武田斐三郎に命じて築造させたものである。我が国で最も古い西洋式高炉で、一度火を入れたが失敗し放置された。「基壇石積」は五稜郭を築いた石工、井上喜三郎によるもので本体は見られないが、石組・基底部分は今も見られる。